



Tokyo Tech

東京工業大学 産学協働プログラム
「人生100年時代の都市・インフラ学」

人生100年時代の豊かな ライフシーン Vol.1

チーム④：移動とモビリティ

座長：山本師範（清水建設株式会社）
担当教員：室町泰徳

2021年2月25日
資料作成：坂村圭

これから3回のワークショップが目指すこと

人生100年時代の豊かな移動やモビリティを創出する 都市・インフラのデザイン要件の抽出

- －移動やモビリティの「豊かさ」とはどのようなものを説明できるようになる
- －人生100年時代の「豊かな」移動とモビリティを想定できるようになる
- －人生100年時代に移動とモビリティの「豊かさ」を創出するために、都市・インフラがどのような要件を満たすべきかを理解する

「豊かさ」をデザインする

例えば、「これから50年を見据えた豊かな移動やモビリティを生み出すスペースをつくりたい」という依頼を受けたときに、その空間をどのように設計・計画しますか。

どのような人が集まるように設計しなければならないか、どのような活動を生み出したいか。そのためには、どんな機能が必要で、どれぐらいの面積が必要となるか・・・。

もちろんそれぞれのプロジェクトでは、クライアント、敷地要件、予算などが異なるため、このような問いには、画一的な答えはありません。それでも、それぞれのプロジェクトで満たすべき、豊かな移動やモビリティを創出するための「デザイン要件」や「検討事項」にはいくつかの共通点が存在しているのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、「豊かなライフシーン」を切り口に、都市・インフラが備えるべきデザイン要件を議論、抽出することを目的としています。



豊かさの事例を
集める



パターンや構造
を理解する



通底する概念や
ビジョンを応用
する

本日の中心的な議題

移動やモビリティが「豊か」とはどういうことか

- －移動やモビリティにおける「豊かさ」を自らの経験から掘り起こしてみる
- －グループ内で意見を共有して「豊かさ」を構成する多様さと共通する要素を議論する
- －移動やモビリティの豊かさに影響を与えるコトやモノを把握する

【次回以降の議題】

第2回：人生100年時代に移動やモビリティはどのように変化していくべきかを人の豊かさから考える

第3回：人生100年時代の移動やモビリティを支える都市・インフラのデザイン要件を考える

本日のタイムスケジュールと進行について

○タイムスケジュールと進行

ワークショップの全体時間は3時間(14:00-17:00)です。進行や時間配分はグループ座長に一任させていただきます。

事務局からはチーム内で行っていただきたい議題（ワーク）を数点提示させていただきます。この議題を中心に自由に議論を行ってください。

○本日議論していただきたいこと

- (work1) 自己紹介
- (work2) 豊かさを自分の経験から掘り起こす
- (work3) 全体ディスカッション

○本日の記録とその共有について

議論いただいた内容はビデオ記録を残すだけでなく、書き起こしを事務局で行います。これらの結果は人生100年のホームページでアーカイブさせていただきます。

【Work 1】

自己紹介

新しいワークショップのはじまりです。まずは自己紹介を行いましょう。
お名前、ご所属、最近の趣味、好きな食べ物など・・・

一人2分程度で自己紹介をお願いいたします！

【Work 2】

豊かさを自分の経験から掘り起こす

個人的な経験から移動やモビリティの豊かさを考えてみましょう。

「豊かさ」を感じた自身の移動やモビリティの経験を思い返して、ノートに書きだします（20分程度）。

ノートの内容がまとまったら、zoomのチャットに書き込みを行ってください。
全員の書きこみが終わったら、一人2分程度で発表を行います。

自分の経験を掘り起こす

まずは、深呼吸をして、心を落ち着けます。

心の準備が出来たら、ゆっくりと自身の「豊か」な移動やモビリティの経験を思い返してみましよう。

ぼんやりと風景が浮かび上がってきたら、そのなかでも特に鮮明な記憶を一つ選んで、できる限りその場所に留まり、探検をしてみます。

どのような場所にあなたはいますか。

それはいつの出来事でしたか。

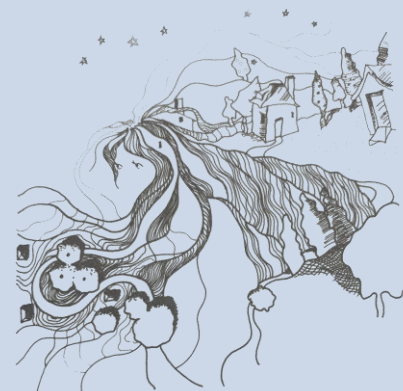
あなたは何をしていましたか。

誰と一緒にいたときのことだったでしょうか。

どのような会話をしましたか。

準備が出来たら、そのイメージを絵にしてみます。上手に書く必要はまったくありません。絵の中には必ず注釈をつけて、細部の特徴を言葉にします。

最後に、なぜその経験を「豊か」と思ったのかを改めて考えてみましょう。



【メモ欄】

Title :

いつのこと： 年 月 (朝・昼・夜)

何をしていた時：

どこで： (室内・屋外)

誰と一緒にいる：

何がみえる：

どんな音が聞こえる：

なぜ豊かだと思ったか：

【Work 3】

全体ディスカッション

グループ内の発表をもとに、ライフシーンの「豊かさ」の多様性と共通点を考えてみましょう。また、どのような事柄（時間、場所、相手・・・）が「豊かさ」に影響を与えるかを話し合ってみましょう。
その他にも、気になったことは何でもグループ内で共有してください。

議論してみたら面白いかもしれないこと

○移動やモビリティを分類するとしたらどのような分け方があるか

いつも同じ経路をたどる通勤や通学の移動と、旅行時の移動に求めるものは少し異なるだろう。前者では、最短経路で安全に移動することが重要視されるが、後者では少し遠回りでも刺激的で冒険的な移動を求めることがある。では、このような違いは、移動の豊かさを考えることに影響を与えるだろうか。

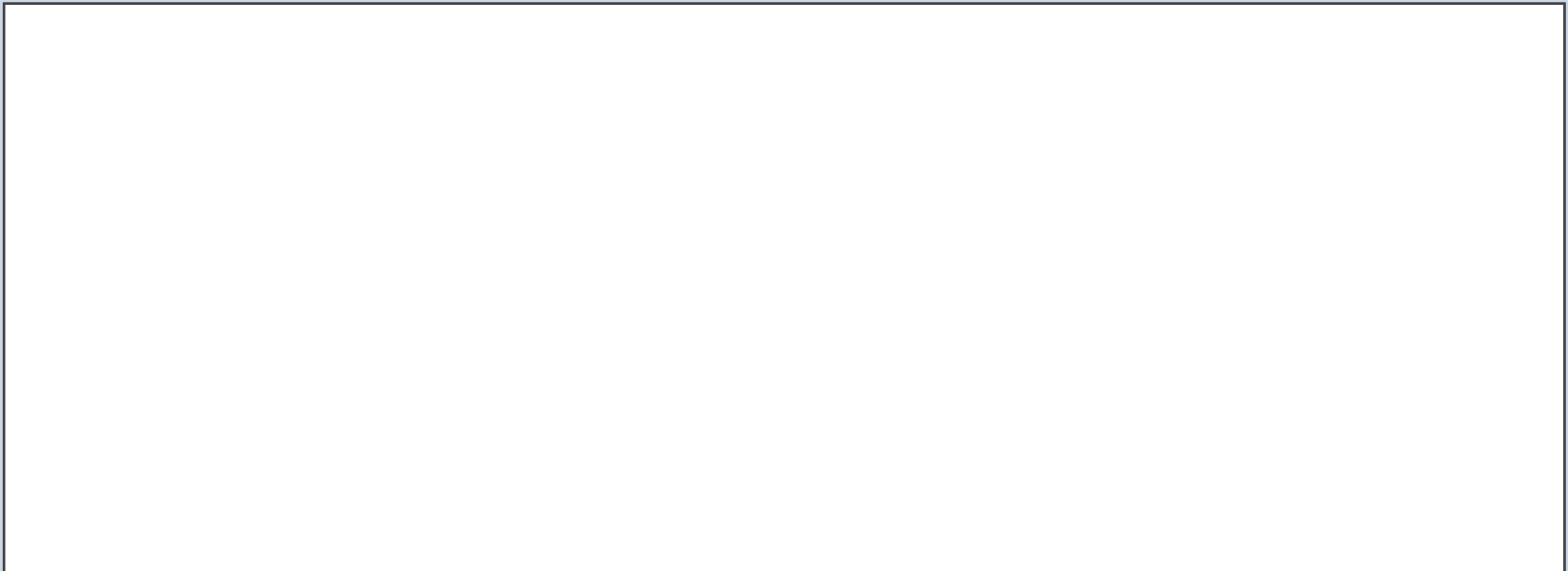
豊かさを切り口にする場合、移動やモビリティをどのように分類すると良いだろうか。

○私たちはどんな理由でモビリティや経路を選択してきたのか

出張に行く時に、自由に交通手段を選択できるとしたら、新幹線と飛行機のどちらを選ぶだろうか。ぶらぶらと近所を散歩している時に、無意識にどのような道を歩いてしまっているだろうか。私たちはどのような理由からモビリティや経路を選択しているだろうか。また、それらは豊かさとながりがあることだろうか。

本日のまとめ

移動・モビリティの「豊かさ」とは



である。